

緊急告知

STOP

ザ

労働災害

～例年より労働災害が増加しています～

労働者、事業主のみなさん、

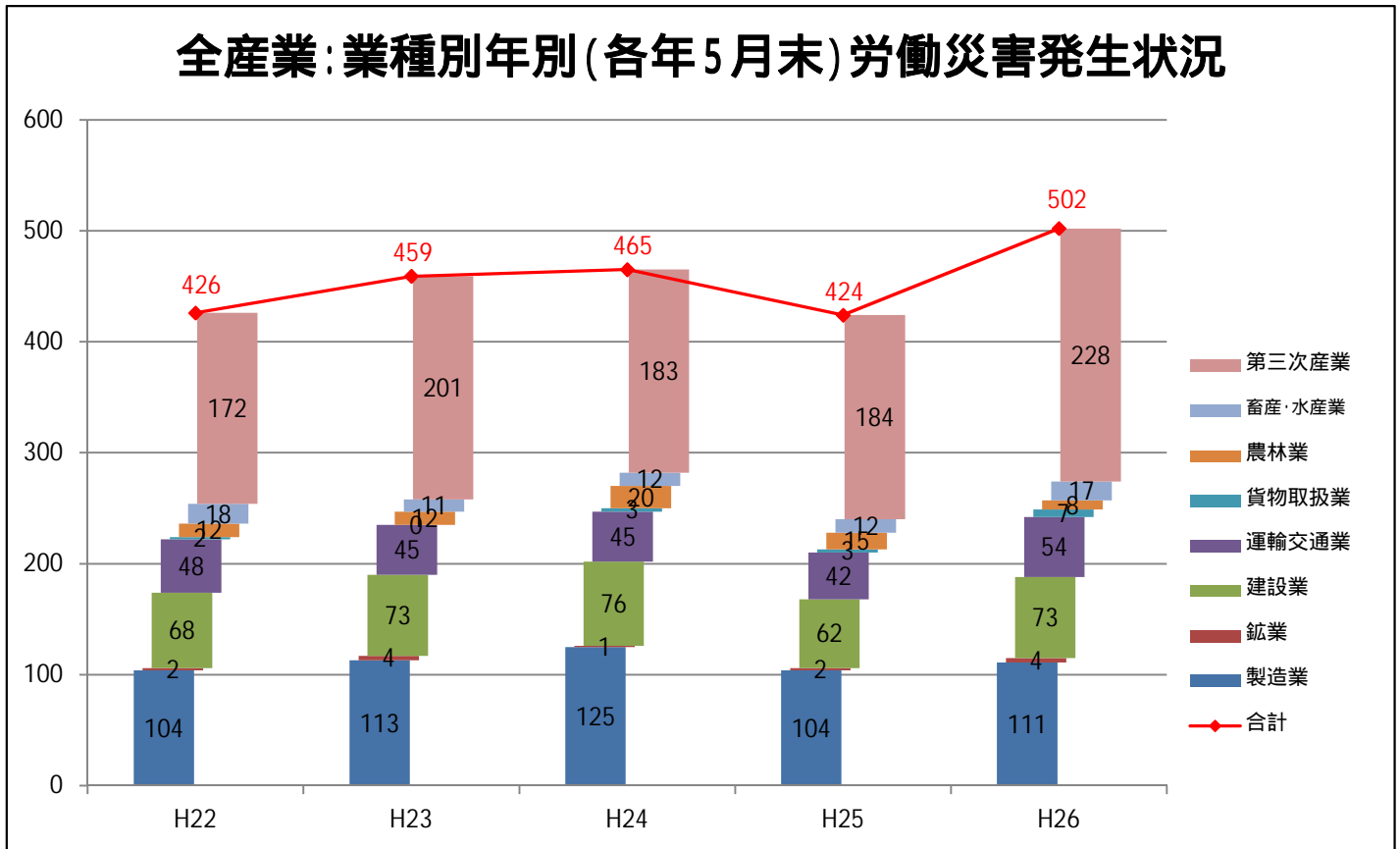
職場の安全点検を実施しましょう！

- 平成 26 年 5 月末時点の長崎県内の労働災害発生件数が、過去 5 年の同期比で最多！
- とりわけ、「運輸交通業」、「第三次産業」で、過去 5 年の同期比で最多！
- 「製造業」、「建設業」などでも労働災害が増加傾向にあります。

【労働災害統計、各種労働災害防止パンフレットなどに関するお問い合わせ先】

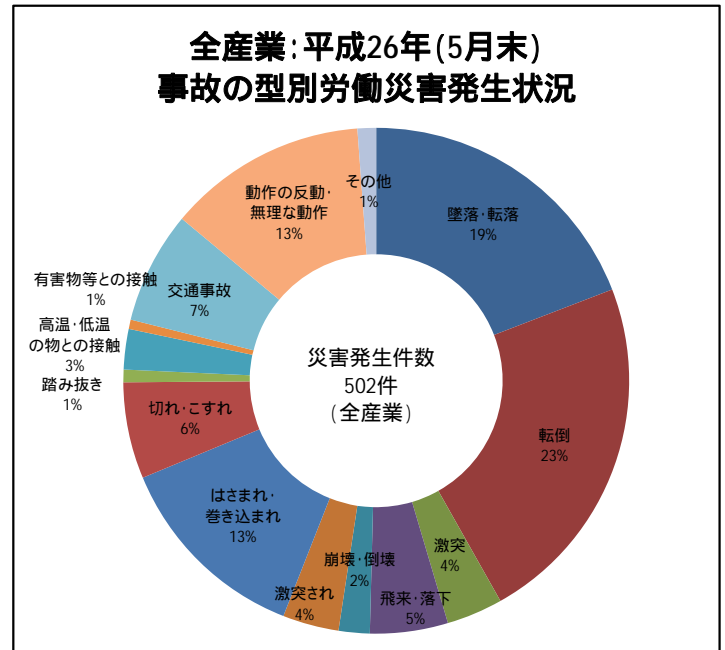
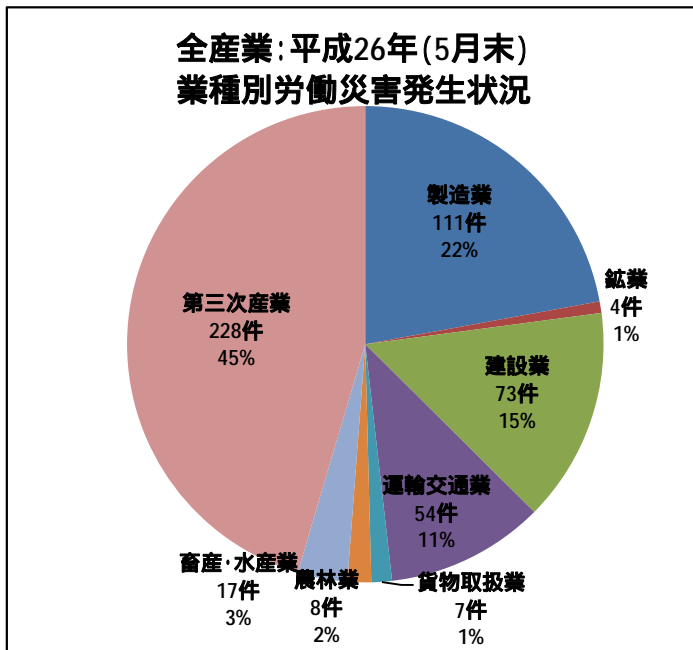
長崎労働局労働基準部健康安全課 ☎95-801-0032

長崎労働局ホームページ <http://nagasaki-roudoukyoku.jsite.mhlw.go.jp/>



【平成26年労働災害発生の現状(5月末時点)】

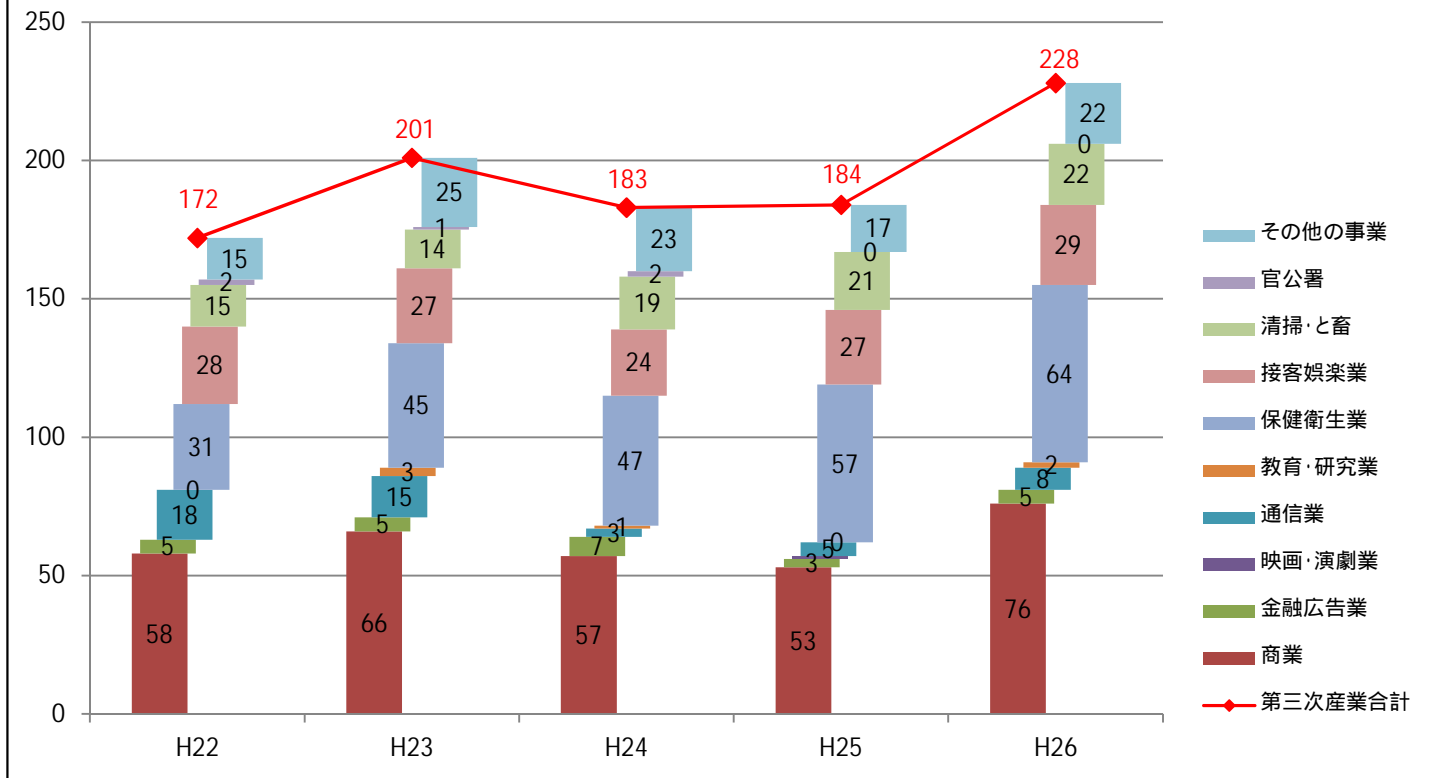
- ・全産業で対前年比78件(18.4%)の増加(過去5年で発生件数はワースト1)
- ・第三次産業で対前年比44件(23.9%)の増加(過去5年で発生件数はワースト1)
- ・運輸交通業で対前年比12件(28.6%)の増加(過去5年で発生件数はワースト1)
- ・製造業(対前年比7件、6.7%増)、建設業(対前年比11件、17.7%増)などでも災害が増加傾向



・第3次産業が全体の45%を占める状況

・転倒(23%)、墜落・転落(19%)災害の占める割合は、依然として高い。

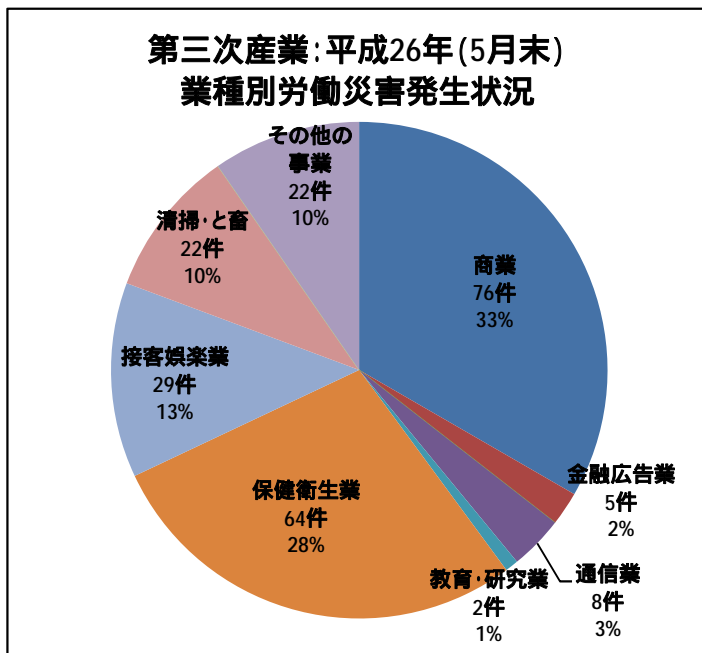
第三次産業:業種別年別(各年5月末)労働災害発生状況



【平成26年労働災害発生の現状(第三次産業:5月末時点)】

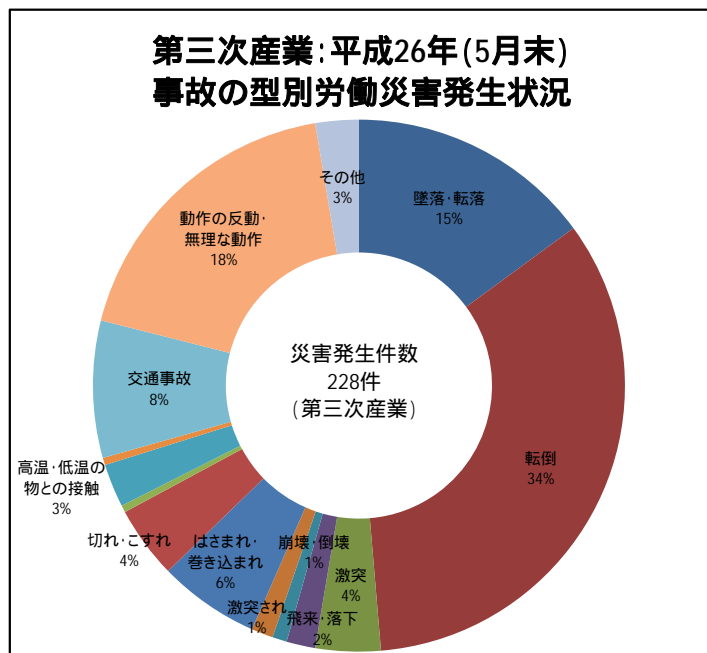
- ・保健衛生業で対前年比7件(12.3%)の増加(過去5年で発生件数はワースト1)
- ・商業で対前年比23件(43.4%)の増加(過去5年で発生件数はワースト1)

第三次産業:平成26年(5月末)業種別労働災害発生状況



・商業と保健衛生業で全体の約60%を占める状況

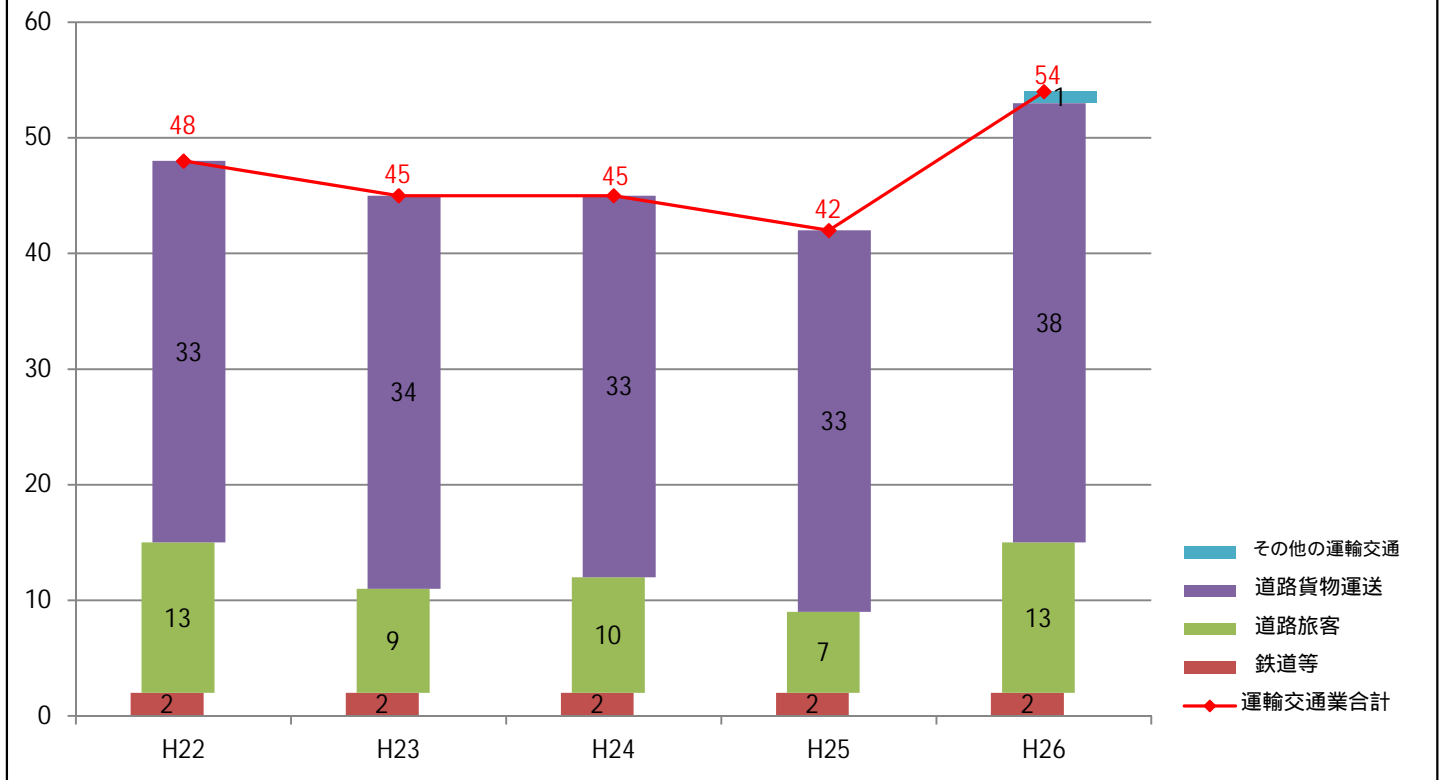
第三次産業:平成26年(5月末)事故の型別労働災害発生状況



・転倒による災害が多発(34%)。動作の反動等(災害性の腰痛など)による災害も他業種に比し多い(18%)。

平成26年労働災害発生状況 (H26.5.31時点)

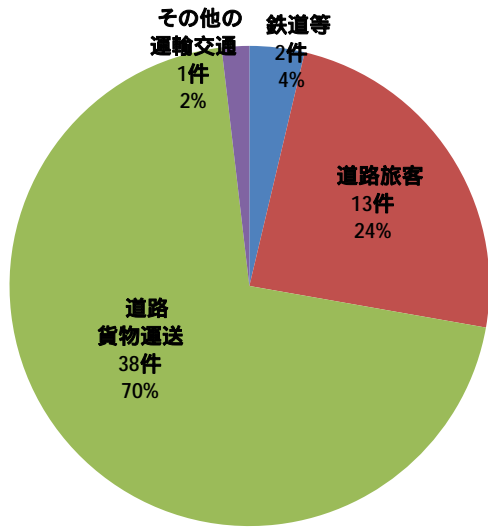
運輸交通業：業種別年別 (各年5月末) 労働災害発生状況



【平成26年労働災害発生の現状 (運輸交通業：5月末時点)】

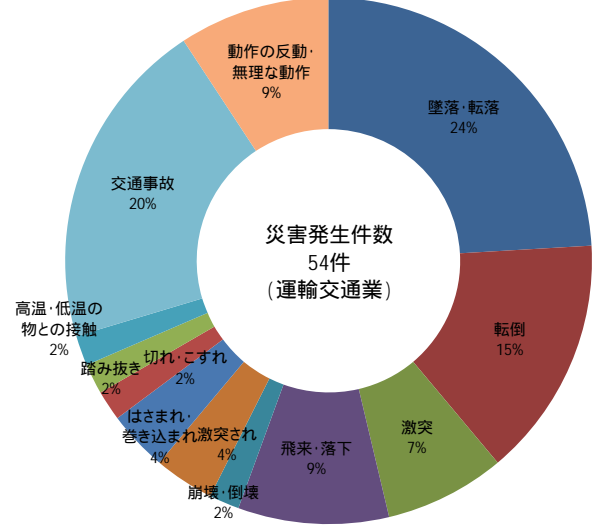
・道路貨物運送業で対前年比5件(15.2%)の増加(過去5年で発生件数はワースト1)

運輸交通業：平成26年(5月末) 業種別労働災害発生状況



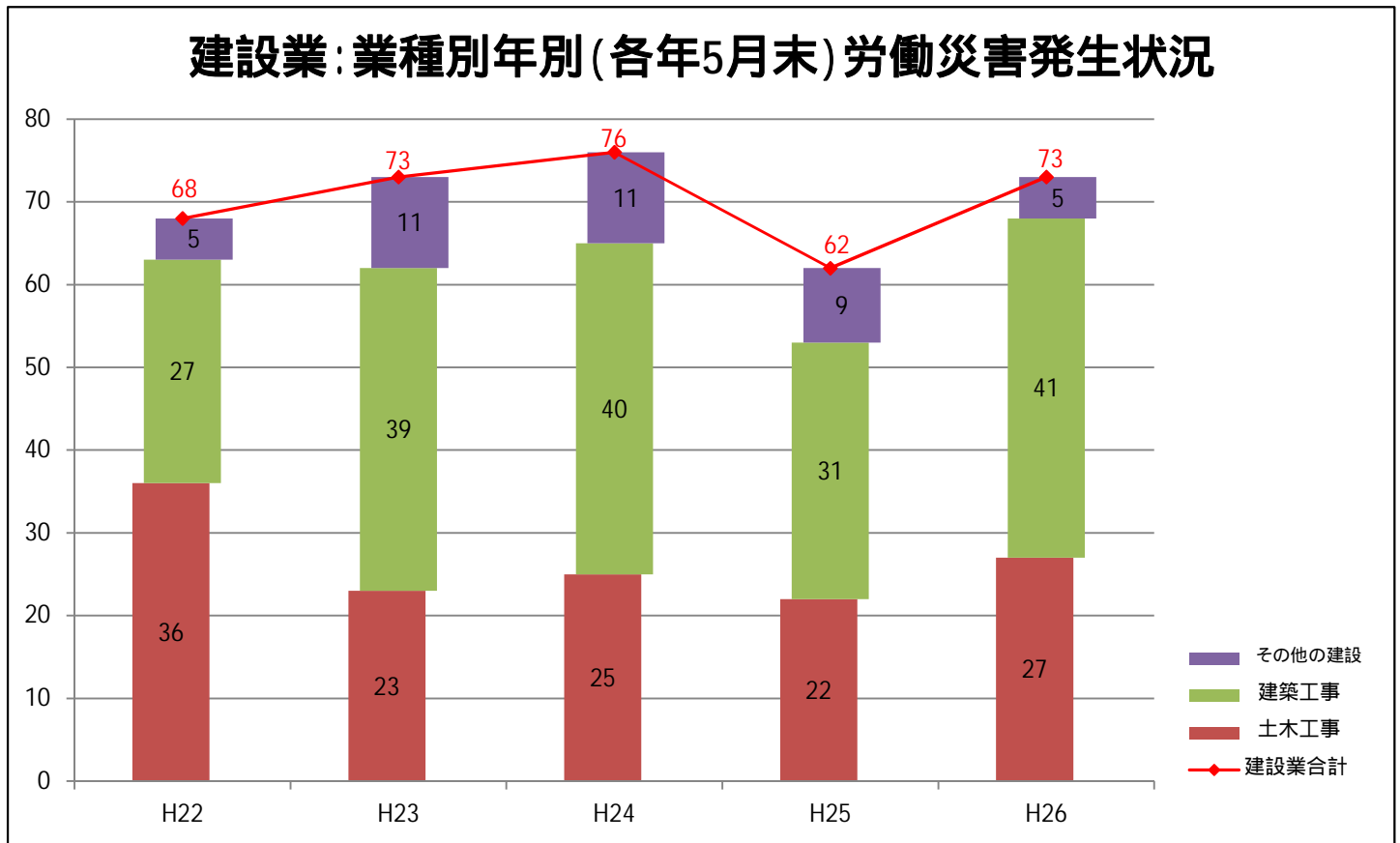
・道路貨物運送業が全体の70%を占める状況

運輸交通業：平成26年(5月末) 事故の型別労働災害発生状況



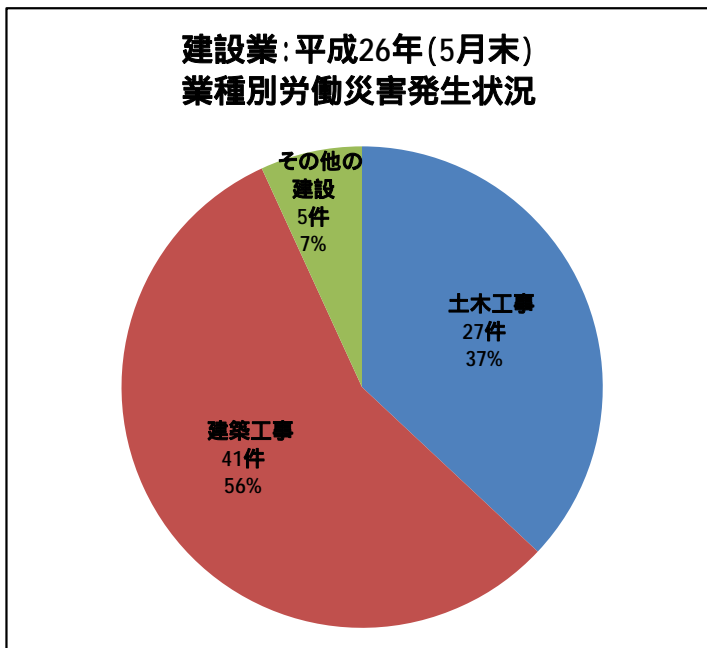
・トラック荷台などからの墜落転落災害が多い(24%)。交通事故も20%を占めている状況。

平成26年労働災害発生状況 (H26.5.31時点)

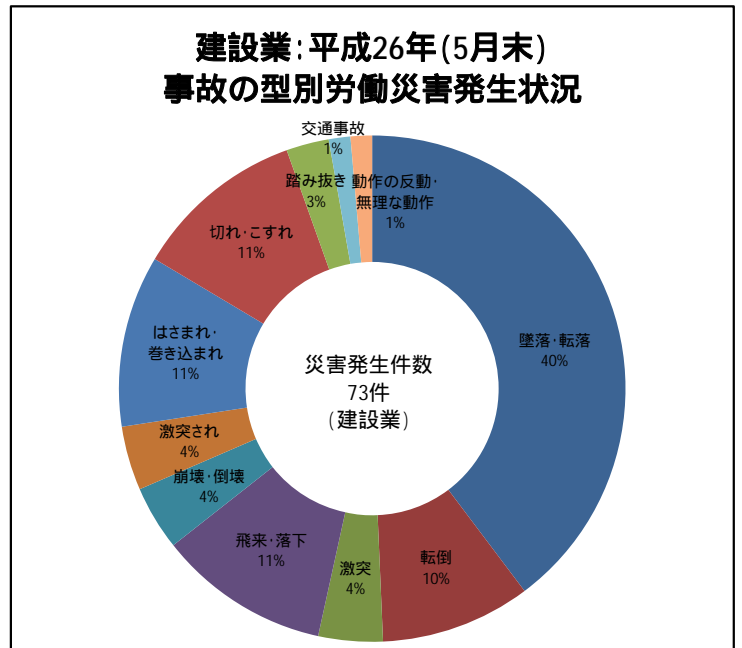


[平成26年労働災害発生の現状 (建設業：5月末時点)]

- ・建築工事業で対前年比10件(32.3%)の増加 (過去5年で発生件数はワースト1)
- ・土木工事業でも対前年比5件(22.7%)の増加



・建築工事業が全体の50%以上を占める状況



・重篤な災害に繋がりにくい仮設物、足場などからの墜落転落災害が40%も占める状況にある。